

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP1-06
研究課題名	原爆被爆者の寿命調査集団における子宮がんの研究、1950-2011年（RP8-85の補遺）
研究責任者（所属）	西阪 隆（県立広島病院、放射線影響研究所疫学部専門委員）
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的： 放影研の寿命調査集団において、原爆放射線被曝が子宮がんの発生に及ぼす影響を調査します。病理試料および病理診断の情報をを用いて、放射線被ばくによる子宮がんの特徴についても検討します。</p> <p>利用方法： 寿命調査対象者の方のうち 2011年までに子宮がんにかかった方についての、各医療機関に保管されている子宮がんの試料を借用します。また、放影研が保有する寿命調査対象者の方の子宮がんの試料も使用します。これらの試料を用いて、病理専門医による病理学的検討を実施します。病理診断の所見を考慮したうえで、各対象の方の原爆放射線の被曝線量と子宮がんのリスクの関連を分析します。その際、個人情報は匿名化され、個人が特定されることはありません。分析結果は、学術論文等において集計値として公表します。</p>
他の機関への提供の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有（提供先機関：米国国立がん研究所、米国ヒロソフトインターナショナル）共同研究を実施する目的のために、個人情報を匿名化（対応表は放影研が保持します）したうえで、個別データを提供します。匿名性を高めるために、生年月日や被曝線量など個人の特定につながる可能性のある情報は丸めて提供します。</p> <p><input type="checkbox"/> 無</p>
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>1) 追跡調査に基づく生死および死因、がん罹患に関する情報 （がん罹患に関する情報は RP18-61 & RP29-60 で取得したものです）</p> <p>2) 広島・長崎の医療機関で子宮がんの生検、手術、剖検を受けた方についての子宮がんの病理試料および病理診断の情報</p> <p>3) 原爆傷害調査委員会および放影研で剖検や子宮がんの外科病理診断を受けた方についての子宮がんの病理試料および病理診断の情報</p>

	4) 対面調査および質問票調査に基づく原爆被爆状況および生活状況等に関する情報
利用する者の範囲	県立広島病院 西坂 隆 広島赤十字・原爆病院 藤原 恵 長崎みなとメディカルセンター市民病院 中島久良 長崎大学原爆後障害医療研究所 中島正洋 三浦史郎 放射線影響研究所 小笹晃太郎 定金敦子 歌田真依 コローン・ジョン 疫学部原簿管理課・腫瘍組織登録室・病理学研究室・解析室の担当職員 統計部解析室の担当職員 米国国立がん研究所 馬淵清彦 米国ヒロソフトインターナショナル プレストン・デール
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	小笹晃太郎（放射線影響研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：小笹晃太郎 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131